

迎

春



安心安全で暮らせる まちづくりを目指して

平泉町議会議長 高橋 拓生

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、平泉町議会を代表して町民の皆さまに謹んでごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会に対する温かいご理解と格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、未だ終息に至らない新型コロナウイルス感染症にあつては、罹患された皆さま、医療現場の最前線で日々奮闘されている医療関係者の皆さま、そして、感染症の影響を受けられたすべての方に心からお見舞い申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止に日々取り組んでいただいております皆さまに改めて感謝申し上げます。

昨年、本町といたしましても世界遺産登録十周年記念事業の多くの催しについて中止または規模を縮小した開催となりましたが、地域振興の面からも、地域の宝を次世代につないでいくためにも大変重要な記念事業でありました。11月に岩手県立世界遺産ガイドンセンターが開館し、12月の平泉スマートインターチェンジの開通で世界文化遺産へのアクセス向上、観光支援、物流の効率化などの地域産業への活性化が期待されます。

また、本年は(仮称)平泉町社会教育施設が完成し、町民の集いの場、学びの場、その中心的な役割を果す学習施設として活用が期待されております。

近年、人口減少・少子高齢化の進展に加え、想定を超える自然災害、更には社会構造

の変化に伴い地域が様々な課題を抱える中、予想もしなかった新型コロナウイルス感染症の世界的な猛威に生命が脅かされ、社会経済状況は大きな打撃を受けました。そして、私たちの生活様式は一変し、今こそ、ウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据えた、新たなまちづくりが求められています。

コロナ禍におけるの議会運営は、感染拡大防止のための対策を徹底した上で、通年議会の強みを生かし、コロナ対策を速やかに実行するために、早急かつ的確に審議を行うなど、全力で対応するとともに、二元代表制の一翼を担う議会として、町民の負託に応えるべく、引き続き住民本位の政策決定や監視、評価、政策立案等に取り組んで参ります。

また、SDGsの基本理念である「誰ひとり取り残さない」取組も念頭に、引き続き、議会だより、議会動画配信や、町民の皆さまとの意見交換、各種団体との懇談会など、身近で開かれた議会となるよう議会活動にしっかりと取り組んで参ります。

議会の果たすべき役割はますますその重要性を増しています。私たち議員も、町民の安全・安心な生活を守るとともに、本年も、町民の皆様方からのご意見を丁寧に向い、本町議会が一丸となって、行政側と活発な議論を進めて参りますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、何よりも町民の皆さま方がご健勝で幸多い素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。



町の強みを生かし 持続できるまちづくりを

平泉町長 青木 幸保

町民の皆さま、あけましておめでとうございます。新年にあたり、ごあいさつを申し上げます。

皆さまには、新たな希望を胸に新春をお迎えしたこととお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対しましてご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

輝かしい新年を迎える一方で、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響は、皆さんの生活や経済活動など多岐に広がっております。特に昨年は、世界遺産登録10周年の記念すべき年でしたが、主要な大型事業は軒並み中止せざるを得ない状況となつてしまい、非常に残念でありました。

こうしたなか行いましたワクチン接種につきましては、多くの町民の皆さまにご理解をいただき、2回の接種率は91.4%となりました。改めて感謝申し上げますとともに、ご協力をいただきました医療従事者の皆さまに対しましても、心から感謝と御礼を申し上げます。コロナと共存する新たな日常を作り上げていくためにも、引き続き3回目の接種を行ってまいりますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年は地域懇談会を開催しましたが、21行政区すべてを回って開催できるのも、コンパクトな町の「強み」であると思っております。寄せられたご意見やご要望は地区ごとに様々でありましたが、区長を中心とした地域の皆さまとの対話を常に大切にしながら、役場と町民が一緒になつて課題を解決してまいりたいと思っておりますので、今後とも皆さま

のお力添えをお願い申し上げます。

今年はいよいよ新しい社会教育施設が完成します。公民館と図書館と多目的ホールと子育て機能を併せ持つ施設であり、多くの幅広い年代の皆様が親しまれる「町民の賑わい交流拠点」となるよう、7月のオープンに向けて万全の準備を進めてまいります。

また、実証実験として運行しているコミュニティバスにつきましては、より多くの皆様にご利用いただけるよう、利便性を高める見直しを進めながら、4月の本格運行につなげてまいります。

待望の開通を迎えた平泉スマートインターチェンジは、観光の振興や産業の活性化などの効果が期待されております。また、1100台の駐車場はとてみで魅力的なスペースですので、イベント会場などにも有効に活用してまいりますし、周辺への企業誘致も進めながら、地域の活性化につなげてまいります。

昨年からのスタートした第6次総合計画では、こうした町の強みや新しい魅力を生かしながら将来像である「輝きつむぐ理想郷」を目指してまいります。明日の平泉をつくる主役は町民の皆さまです。役場だけでは成し得ない施策も多くあります。まさに役場と町民が一体となった「チーム平泉」の力で持続できるまちづくりを進めてまいりますので、まちづくりへの積極的なご参加をお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍を乗り越えて新しい時代へ踏み出して行く、そんな希望の年であることを願いつつ、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。